

WEEKLY REPORT

創 立／1986年2月19日 (会長) 榊原 一久 (副会長) 月井 雅夫 (幹事) 細田 新子
例会場／〒171-8505 東京都豊島区西池袋1-6-1 ホテルメトロポリタン TEL 03-3980-1111
事務所／〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-29-14-101 TEL 03-3985-7577 FAX 03-3590-6644
HP <http://www.toshimah-rc.jp> E-mail info@toshimah-rc.jp



人類に
奉仕する
ロータリー

2016～2017 年度会長方針 「会員同士の親睦を深めて奉仕の理念を実践しよう」

第 1441 回例会

2016 年 10 月 19 日

本日のプログラム

例 会 12:30～13:30
会員卓話
新入会員イニシエーションスピーチ
松井 善吾会員

次回のプログラム

例 会 12:30～13:30
クラブ協議会③ (ガバナー公式訪問準備)

ては、公式訪問の前の週10月26日の「クラブ協議会」でお話をさせていただきたいと考えております。

今月のソングリーダー

浅原 英明会員

前回第1440回例会報告 2016年10月12日

会 長 報 告

1. 本日の卓話は米山奨学生の朴健植 (パク・コンシク) 君にお願いしておりますが、お話しいただく前に10・11月分の奨学金をお渡ししたいと思います。
2. 11月25日 (金) 開催の北分区IMについて皆様にはすでにご案内をお送りしていますが、登録期限の関係上、出欠のお返事を本日 (12日) 中に必ず提出いただけますようお願いいたします。
なお今回のIMは、食事→合同例会→IMの最後まで同じ席 (テーブル) で進行されます関係上、食事時間が11時30分から最終12時15分までとなっていますが、この時間帯を過ぎて入場した場合は食事をお取りいただくことができないとのことです。また、席 (テーブル) もクラブごとではなく来場順にランダムに案内されるとのことです。この2点につきましてご注意ください。開催日が近くなって参りましたら再度ご案内いたします。
3. クールビズの期間を終了とし、次回例会からは上着・ネクタイ着用をお願いいたします。
4. 来週の例会は欠席させていただきますので、副会長の月井さんに点鐘と報告をお願いいたします。

幹 事 報 告

11月2日はガバナー訪問です。10時30分から11時15分まで会長幹事との打ち合わせの後、11時15分から12時15分まで「クラブ協議会」を開催し、5大奉仕委員会のほか、ロータリー財団、米山奨学、会員増強の8部門の取り組みを発表いただくとガバナー事務所から依頼が来ますので、5大奉仕委員長、ロータリー財団、米山奨学委員会、会員増強委員会の各委員長は、11時15分からの「クラブ協議会」へのご出席をお願いいたします。

例会は通常どおり12時30分からですが、上山ガバナーに卓話をいただきますので、大勢の会員のご出席をお願いいたします。

なお、ガバナー公式訪問のスケジュール等の詳細につい

委 員 会 報 告

佐々木会員

11月28日 (月) 開催の「前川会」の件
今回の会場は向島料亭の「千代田」となります

佐藤親睦委員長

小田原移動例会、無事終了報告の件

月井バギオ委員・クラブ奉仕委員長

「第38回バギオ訪問交流の旅」の件

例会終了後の「第2回フリートーキング in オリентエクスプレス」の件

2016-17年度
第2回

フリートーキング in オリентエクスプレス

- ・10月12日 (水) 例会終了後開催
- ・出席者7名
前回同様たくさんのお話が出ました。その中の決定事項を報告いたします。
- ①卓話の充実について
・「卓話専門委員会」の構成を幹事とプログラム・広報委員とする
・卓話者リストを活用し、積極的にスケジュール等を交渉する
・会員全員で卓話の充実に関心し合い「こんな人知ってる」「こんな人どうだろう」等のアンケートを取る
- ②会長の下に「再生委員会」を作り、クラブの活性化、魅力あるクラブ作りのための今後の取り組みなどを検討する。委員長は佐々木会員とする。

素晴らしいクラブにするためにぜひご意見をお聞かせください。お待ちしております。

- ・次回開催は10月19日 (水) 例会終了後、皆様のご参加をお願いします

2016年10月12日 (水)

第4回定例理事会 議事録

1. 月井会計より9月分会計報告。
2. 10月のスケジュールの確認及び11月の例会スケジュール承認。
3. クールビズ終了について承認。

私にとっての日本

米山奨学生 立教大学 社会学部 メディア社会学科3年
朴 健植（パク・コンシク）君



1. 現在取り組んでいる研究に関して

現在私は、立教大学の社会学部に在学しております。社会学は非常に幅の広い学問でありまして、一概に定義することが難しいのですが、個人的には世の中で自明であると認識されている事柄を批判的に捉える学問が社会学ではないかと思えます。その幅広さを認識しつつ、個人的には日本メディアの構造的な問題や、インターネットを基盤にした新しい媒体などのメディア関連の問題、外国人労働者や性的マイノリティーなどの社会的弱者の問題に関心を持っております。

今年からは日本の情報カルテルという問題に関して研究しております。ご存知でいらっしゃるかわかりませんが、日本のメディアは「情報カルテル」とも言われます。例えば、英語で「記者クラブ」を表記する際、ローマ字で「Kisha Club」と書きます。なぜ「記者クラブ」は適切な単語で表記されないのでしょうか。それは「記者クラブ」という制度は日本にしかない独特なものであるからです。そして、あまり感じられないかもしれませんが、「記者クラブ」や「新聞協会」などのような制度のため、ある意味日本メディアの報道は水平的であり、偏向的な面があります。ジャーナリズムにおいて、客観中立な報道、多様な報道は欠かせないものでありますが、その面においては良いとは言えない状況であります。

最近アメリカや韓国では、Podcastというアップル社のアプリケーションを活用した放送プログラムが続々登場しております。そして、アメリカ大統領選挙の討論会を見ていただくとわかりますが、アメリカの放送局はツイッターなどの媒体を活用しファクトチェックを行っております。ちなみに、ファクトチェックとは政治家の発言が事実かどうかをチェックするものであります。しかし、日本ではこのような動きがあまり見られません。10年ぐらい前、「Oh My News Japan」というインターネット新聞が日本にも登場したのですが、最終的には失敗しました。まだそれに関しては研究中でありまして詳細なことは言えないのですが、なぜ日本にはインターネットを基盤にしたメディアが発達しないのか、そしてインターネットにおいて

のニュースの流通問題などにも関心を持って取り組んでおります。

2. 私にとっての日本

このような話を申し上げても良いのかよくわかりませんが、私の人生の中で「日本での留学」は想像もしなかったのです。正直にありえないことであると思いました。日本と違って韓国には徴兵制度がありまして、成人男性なら誰でも約2年間は軍隊に行かなければなりません。私にとっては非常に危機的な状況でありました。家族にも会えず約2年間離れて生活することは想像もしたくないことでありました。何よりも大変であったのは、未来に対しての不安でありました。当時、韓国である大学に通っていたのですが、他の人々のように平凡な人生を送ることは個人的にはあまり好ましくないことであると思っていました。

その脱出口として考えたのが日本への留学でありました。周りに日本語が話せる人が誰もいなかったで、日本語教材と電子辞典を購入し約1年間独学しました。今考えても本当に奇跡的であったと思いますが、立教大学に入り、夢のようなものであった日本での留學生生活が実現されました。全く日本語もできない私がなぜ立教大学に入学できたのか、今だに不思議ではありますが、私の人生が新たな転換点を迎えた瞬間であると思えます。立教大学に入ってから、正直に「私」という存在はなかったとも言えます。私が目指していた目標、夢を考えられる余裕は全くなく、ひたすら単位を取り、GPAを上げるための時間でありました。そして、韓国の状況も同一であります。留學生に対してのステレオタイプは今だに存在しておりますし、それを克服することも一つの課題であります。例えば、「留學生？ 本読めるかな？」「留學生と一緒に課題とかをやるなんて、いろいろ面倒くさいんじゃないかな」などのようなことです。

今はそのような不安感あるいはステレオタイプから克服してきたとは思いますが、ロータリークラブに入る前には、自分自身を考える時間、世代を超えた交流の時間など想像もしなかったと言えます。良い成績を維持し、日本あるいは韓国で就職すればそれで良い人生であると思っていました。しかし、ロータリークラブに入り、私のカウンセラーでいらっしゃる稲川様をはじめ、いろいろな方々と交流することができ、また私の人生の新たな転換点を迎えているような気がします。それによって、今まで忘却していた「私」という存在が見えるようになり、「私のための人生」よりは「社会のための人生」がいかに価値のあるものであるかに関してわかるようになりました。私が社会学を勉強する理由も自分自身のためではなく、私を育ててくれた社会のためであると思えます。豊島東ロータリークラブのおかげさまで、私の人生の新たな転換点を迎えることができ誠にありがとうございます。今後も社会のための者になるために尽力していきます。



米山奨学生の朴康植君に
奨学金のお渡し



10月の誕生日祝会員



10月の夫人の誕生日祝会員



青少年交換派遣予定学生の
山元梨楠さんより英語を交
えてのスピーチ



10月の結婚記念日祝会員

■ゲスト

米山奨学生
青少年交換派遣予定学生

朴 康植様
山元 梨楠様

■出席報告

会 員	出席算入 会員数	出席数	欠席数	出席率	9月28日分 修正出席率
33名	29名	20名	9名	68.97%	93.10%

ニコニコ B X

浅原会員／お家内の誕生祝い、ますますオッカナイ！ ありがとうございます。

中島会員／結婚記念をありがとうございます。記念日を忘れてしまう今日この頃です。

佐藤会員／10／2-3小田原移動例会お疲れ様でした。ありがとうございました。2日目は雨もありましたが、無事全スケジュールを終了いたしました。また本日は、誕生祝いをありがとうございました